

すずかのかせ

# 鈴鹿の風

VOL.  
43

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌

若い力を求めています

院長 久留 聡

新型コロナワクチン接種

医学コラム ～期待される筋ジストロフィー治療～

看護部だより

aiboの活躍紹介

名誉院長の部屋「鈴鹿病院と祖父江逸郎先生」

研究開発商品紹介



# 若い力を求めています

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 院長 <sup>く</sup>久留 <sup>る</sup> 聡

さとし 聡



毎日々々筋疾患の診療をしているので、この分野にはずいぶん詳しくなりました。近隣の病院やクリニックからは、たくさんの筋ジストロフィーやミオパチー患者さんをご紹介いただいております。お陰様で非常に珍しい筋疾患を診療する機会も得られました。国立病院機構には、全国に当院と同じように筋ジストロフィーを有する施設が多数あるので、学会や班会議を通じて情報交換や共同研究を行ってきました。考えてみますと筋疾患の診療について研鑽を積むには大変恵まれた環境で仕事をさせていただいてきたこととなります。

私が当院に赴任して以来の二十数年間に筋ジストロフィー診療は少しずつ進歩してきましたが、それを肌で実感できるというのは何物にも代え難い貴重な経験です。最近ではDuchenne型筋

ジストロフィー患者に対する核酸医薬による治療や、ロボットスーツを用いたリハビリテーションなど、昔では考えられなかったような効果を期待できる治療を実践することができるようになっていきました。これらの進歩は一足飛びに成し遂げられたわけではなく、患者レジストリーの発足や、診療ガイドライン作成など地道な活動が実を結んだ結果であると考えています。そして、これらの活動の一部に筋ジストロフィー班会議などを通じて微力ながら参画できたことは大変自信になりました。当院の診療や研究は徐々に充実しつつあるのですが、この流れを受け継いでさらに発展させていける若い力を育てていくことが極めて重要であると今まさに痛感しています。自分自身、先々代の松岡先生、先代の小長谷先生に大変お世話になり薫陶を受

けました。また、亡くなられた川井先生(元国立病院機構東埼玉病院長)の指導のもと様々な研究活動に携わることができました。今度は自分が一人でも多くの後進を育てていきたいと思うのです。まだまだこれからの分野なので、頑張ればその発展に貢献できる可能性が高いことが魅力です。例えばDuchenne型では、昭和の時代に撒かれた種(ジストロフィン遺伝子の発見)が、平成の時代に芽が出て成長し(病態解明、創薬、治験)、令和になって大輪の花(実臨床における治療)を咲かせられるかどうか非常に大事な時期に差し掛かっています。もし、この文を読まれて興味を持たれた臨床医の先生がおられましたら、是非一緒に筋疾患の臨床の道を進んでみませんか?意欲があって臨床が好きの方大歓迎です。



## 新型コロナウイルスの ワクチン接種 を 継続中です

本年2月末より病院職員対象の臨床研究からスタートし、鈴鹿市の医療従事者、そして当院入院患者さんとかかりつけの外来患者さんに接種を行い現在も継続しております。鈴鹿市の住民接種に関しましても医師会から要請を受け、休日夜間に協力させていただいております。

今回のワクチンは筋肉注射です。今まで日本でよく行ってきた皮下注射ではありません。ワクチンを筋肉に注射することは世界的には標準的な方法なのですが、日本は1960~1970年台前半に抗生物質や解熱剤を大量頻回に子供の太ももに注射したことにより大腿四頭筋短縮症という副作用を多発させた痛い経験があり、筋肉注射には消極的な時代を送っていたのでした。新型コロナウイルスの流行によりワクチンを海外から導入することとなり、今回世界標準の筋肉注射をあらためて普及させることになったと言えます。

当院の患者さんは筋肉が痩せる病気の方が多いため、患者さんのどこに打とうか接種が始まる前に正直迷っ

ておりました。いろんな論文を探してみたのですが、接種が先行している海外の適切な報告を探し出すことができず困っておりました。いざ患者さんに接種する直前になって日本神経学会から見解が出され、筋肉への注射を推奨することに加えて、筋ジストロフィーの進行した患者さんでも筋肉が残っている可能性があることをお示しいただきました。これを受けて、筋肉に痩せ

のある患者さんに対しては今までに検査しておられた骨格筋や胸部のCTなどを使って筋肉を探し出し、接種を行なうようにしております。

流行の行方はまだ先が見通せませんが、今できることとしてワクチンの接種をできる限り進め、皆様が新型コロナにかからぬよう、かかっても軽症で済むようにして参りたいと存じます。

副院長 南山 誠



# 医学 コラム

皆様こんにちは。脳神経内科の酒井です。本年3月末で定年となり常勤医から非常勤医に変わりましたが引き続き外来診療等を行っていますので宜しくお願い致します。

さて、今回は筋ジストロフィー等の最新の診療状況についてお伝えしたいと思います。筋ジストロフィーには多くの

## ～期待される筋ジストロフィー治療～

前脳神経内科部長 酒井 素子

種類がありますが、当院ではデュシェンヌ型（DMD）の患者さんが大勢いらっしゃいます。この疾患でのトピックスは、ビルトラルセン（ビルテブソ®）という治療薬が開発され保険適応となったことです。DMDではジストロフィン蛋白が欠損しており筋肉が徐々に壊れますが、このお薬はその蛋白を産生させる効果があります。治療法が無いと言われていた筋ジストロフィーでは画期的な事です。この治療法の対象になる患者さんは遺伝子異常がそのお薬に合っている方に限られますが、当院でもその治療をしている患者さんがおみえです。

現在、同様の薬の開発が進んでいます。どのような遺伝子異常の方がその治療の

適応となるのか等は、「Remudy」という臨床試験／治験を目的とする登録システムの事務局から毎月発行されている「Remudy通信」に時々記載されているので参考にさせていただきたく思います。その他の疾患では、筋強直性ジストロフィー（MyD）でのMYD-0124、縁取り空間を伴う遠位型ミオパチー（GNEミオパチー）に対してのNPC-09投与の治験が開始されています。治験の参加はRemudyに登録した患者さんから条件の合う方が選ばれる場合もありますので、上記の患者さんに加え、先天性筋疾患等の患者さんは登録をお勧めします。

早く、治療薬が確立します様願っています。



## 看護部だより

東1階病棟副看護師長 原田 聡



新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、東京オリンピックが無観客で開催され、患者様はテレビで観戦し若い

世代の活躍に元気ももらっていました。2019年中国の武漢から始まった新型コロナウイルス感染症がここまで猛威



を振るうとは、誰も予想できなかったのではないのでしょうか。

災害もまたいつ何時起こりうるのか予測することは困難です。東1階病棟では、もしもの時に備え、患者参加型の避難訓練に取り組んでいます。

いつ災害が発生しても患者様や職員が落ち着いた行動がとれるように、繰り返し訓練を行い、日頃から災害発生時に取るべき行動をイメージできるようにしておくことはとても重要です。

災害に対し、患者様はどのようなことを不安に思っているのか、訓練を行いどのような問題点があったのか、患者様や職員それぞれの目線で意見を出し合いながら訓練を重ね、災害意識を高めていきたいと思います。



避難訓練



## 通所支援事業に「リンちゃん」がやってきた!

主任児童指導員 丸澤 由美子

6月に通所支援事業へ新しいお友達（リンちゃん）がやって来ました。利用者の皆さんは、リンちゃんに興味津々でも、初対面のリンちゃんに、「なに？」

“だれ？”と視線を送りつつ、ちょっぴり緊張な面持ちの利用者さんたち。職員が「大丈夫だよ。触ってみる？」と手元に連れて行くと利用者さんたちは、

職員とリンちゃんを交互に見ながら、そっ〜と触っていました。

少し慣れてきて、利用者さんも“かわいい”と覗き込んだり、身体を撫でてニコニコしたりしていた矢先、リンちゃんの「わんわん」の鳴き声にビックリ!!! それでも、職員とリンちゃんが仲良く過ごす姿を見て、“大丈夫”と安心したのか、すぐにリンちゃんの元へ来てくれました。利用者さんたちは膝の上へのせたり、“一緒に散歩に行こう”とリンちゃんの足をもって引っ張ったり、身体をトントンしたりする姿が見られ、徐々に仲良しになっていきましたよ♪

1ヶ月が経過する頃には、通所のお部屋にくとキョロキョロと周囲を見渡して“リンちゃん、いないかなあ”と探す姿が見られたり、「わんわん」と鳴き声のする方向へ視線を向けたりする姿が多くみられ、利用者さんたちにとってリンちゃんは“癒し”であり、ホッとひと息つける仲間になっているようです♡



エンタテインメントロボット「リンちゃん」

## 名誉院長の部屋

# 鈴鹿病院と祖父江逸郎先生

名誉院長 小長谷 正明

この春、鈴鹿病院の恩人とも言える、祖父江逸郎先生がお亡くなりになりました。享年、百歳十日。

鈴鹿病院は、筋ジストロフィーや神経難病、重症心身障害児（者）など医療を必要とする障害者のためのセーフティネット系の病院で、東海地方で掛け替えのない役割を果たしています。しかし、初めからこうだったではありません。

終戦後の混乱も治り、高度成長期に入りかけた昭和39年（1964年）、前回の東京オリンピックの年ですが、診てくれる病院を求めて筋ジスの患者さんたちが彷徨っていることから、当時の厚生省は、それまで結核医療を担っていた国立療養所に筋ジス病棟を開設しました。鈴鹿病院も10月には患者さんの受け入れを開始しています。ところが大問題、この病気を分かっている医者がいない。手探り状態で治療をしようにも、医学書にもほとんど書かれていない。そこで、病院長の加藤敏也先生は、筋ジスが運動器疾患なので名古屋市立大学整形外科教室に応援を求め、派遣されたドクターは筋疾患で特異的に上昇するC(P)Kの研究などの優れた業績をあげました。現在の整形外科医長、田中信彦先生に連なる流れです。

また、加藤先生は（神経）内科的な見地も必要と考えられ、名古屋大学第一内科の祖父江逸郎先生にも人材を要請しました。後に国立名古屋病院や国立精神神経センターなどで活躍したドクター達や、厚生省医政局の課長補佐などになった人など、錚々たるメンバーが時期を違えながらも、鈴鹿病院の筋ジス医療に携わってきました。後日、

私の前任の病院長になられた松岡幸彦先生もそうした一人です。

祖父江先生は臨床が好きな先生で、大学病院を受診した可愛らしい男の子を、しゃがみ込んでじっと動作や体つきを観察し、ベシュライバー（カルテ書き）をしていたフレッシュ・ドクターの私に色々教えてくださいました。昭和50年のことで、それが私の筋ジスの最初の経験となり、その患者さんは後に鈴鹿病院に入院し、最期までフォローしました。その頃、鈴鹿病院では、毎年秋の日曜日に愛知県の筋ジス患者検診を祖父江門下のドクターで行っており、私が初めて鈴鹿病院を訪れたのもこの検診の時でした。患者さん達は湯の山の保養センターで一泊した後、観光バスでやってきて、4～50名くらいが受診し、中には今も入院している人もいます。

この頃には、先生は名古屋大学第一内科の教授になられ、鈴鹿病院への循環器研究室からのドクター派遣を決めました。医局長は、他にも医者を欲しがっている病院があると言っていたのですが、「いや、筋ジスの心不全は大事な研究テーマでもある」からの、鶴の一声でした。事実、鈴鹿病院での臨床研究が博士論文になった人もいます。

私は昭和54年に大学院を修了し、晴れて鈴鹿病院の内科医員として籍を置き、患者さんのデータを整理して学会発表のために祖父江先生のところに持って行きました。すると、先生はグラフを横に、次に逆さにして眺め、色々な視点で見えてくるものがあると指摘されました。つまり、作業仮説に凝り固まっていると、本質を見失うと諭されたのです。先生は、沖中重雄先生の

後を引き継いで厚生省の筋ジス研究班の班長をしておられ、私もよく仕事を仰せつかい、論文書いたものです。また、ALSなどの難病医療が問題になりつつある頃で、「あなたの病院も、筋ジスのノウハウを生かして難病をやらにゃあかん」とも仰られていました。

そうこうしているうちに、私は奈良県立医科大学の講師になったり、アメリカに留学したりで、鈴鹿病院を9年ほど離れたのですが、その間に飯田光男先生が病院長になり、祖父江先生が言われたように、ハーフサイズながらも神経難病病棟を開設されていました。舞い戻ってきた私は、飯田先生が班長をしている、コメディカル中心の筋ジス4班や、難病のスモン調査研究班の運営をすることになりました。いずれも、祖父江先生のサポートが大きかったことは言うまでもありません。飯田院長も私も、筋ジス4班などの研究活動で、鈴鹿の山の中にあるこの病院も日本中に繋がっている、オール・ジャパンになれるのだと、職員を鼓舞したことを覚えています。また、飯田先生から祖父江先生にお願いして、重心研究の全国組織に加えていただいたこともあるようです。

祖父江先生は、名古屋大学を退官された後、国立療養所中部病院（現長寿医療研究センター）の院長や愛知医科大学学長を歴任され、国立病院長の経験者として、鈴鹿病院長になったばかりの私にも、有意義なお話をしてくださいました。平成24年に、鈴鹿病院の施設整備が修了し、外来診療棟完成記念式典にお招きし、ご挨拶をいただきました。先生と難病や筋ジストロフィー医療との関わり、鈴鹿病院での検診の

思い出などを語られ、育んでこられた病院が近代化して様変わりしたことをとても喜ばれ、これからのさらなる発展も祈念しますと結ばれました。

先生は現実を見つめ、情緒やアイデアに流されることがなく、また、確かな人物眼で人を評価するリアリストで、私も何度か厳しくご指導を受けました。それは、青年時代に海軍軍医として戦艦大和に乗り組んでレイテ沖海戦に参加したり、原爆投下直後の広島で医療調査に当たったり、終戦後の復員船で南方からの復員兵を診たりという、厳しい現実を乗り越えてこられたからだと思います。

数年前、「若いうちは仕事しなければいけない。歳とったら楽しんでよい」

と仰られたので、若いうちとは何歳迄ですかと、つい聞いてしまいました。すると、「80迄は若い、あんたはまた60代だろう、楽しちゃあかん」とのことでした。弟子としては、教えに従うべきですが、なかなか難しい。別の時、第一内科の先輩から、面子が足りないと声か掛かり、先生と雀卓を囲むことになりました。しばらくして、うん、これていいだろうと仰られた。四暗刻（スーアンコウ）という役満で、その日は朝から予感かしたそうです。先生95歳の秋です。

翌年、愛知県筋ジストロフィー協会の席で、先生は筋ジスや難病、老年医学のことなどを30分近く淀みなく講演され、自分のお年に聴衆がどよめくの

を楽しみにしているふうでもありません。帰り道をご一緒したところ、栄駅の地下三階ホームから階段で改札ホーム迄上がられました。栄養バランスも良く、エネルギーに溢れていると、毎日のようにうな重を召し上がられていたせいか、知力・体力に溢れていました。百歳目前でも本を出版されたほどです。鋭い洞察力と強運も引き寄せる方なので、染色体上にある細胞分裂の回数券、テロメアが尽きる迄、120歳くらい迄はご指導いただける筈と思っていました。散歩中に自転車にぶつけられて肋骨を何本も折り、そこから体調を崩されたとのことで、残念な極みです。

合掌。



平成24年(2012年)11月23日。鈴鹿病院外来診療棟完成パーティにて。(一部改変)  
左から、高井輝男元NHO鈴鹿病院副院長、川井充NHO東埼玉病院長(当時)、筆者、  
祖父江逸郎先生、小長谷陽子認知症介護研究研修大府センター研究部長

## ■ 外来診察担当表 (2021年9月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳神経内科	小長谷	酒井	久留	小長谷	久留
	木村	南山			
内科	野口	野口	牧江	落合	
		落合			
小児科		予約			予約
整形外科		田中 (装具外来)			田中
リハビリテーション科		田中			田中
皮膚科		予約(午前)			予約(午後)
歯科	滝川(午前)	古島(午後)		奥村(午後)	
禁煙外来	野口			落合	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越してください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

## ■ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス  
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



## 編集後記

この度、広報誌の編集に携わらせていただくことになりました。初めてのことで不慣れではありますが、たくさんの方にご愛読いただけるよう努めてまいります。

(給与係 木全)

## 独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>

ルームブリッジ  
Room Bridge  
コンビニエンスストア



ルームブリッジ  
Room Bridge

営業時間  
平日 9:00~13:30  
土日祝 店休日

コンビニエンスストア

8月2日月  
待望の売店がオープン!!

ルームブリッジ

# Room Bridge

## コンビニエンスストア

**営業時間** 平日9:00~13:30

**店休日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

**場所** 外来診療棟 1F



待望の売店が8月2日にオープンいたしました。食料品や日用品、雑誌等を販売しております。ぜひご利用ください!!

「石橋シェフ × 鈴鹿病院」共同開発商品

オンライン限定販売

# ピッツァ (pizza) のご紹介

鈴鹿病院 栄養管理室では、イタリア料理の巨匠「石橋尚幸」シェフと共同で、食物繊維が豊富で機能性のある「ピッツァ」を開発・監修しました。



食物繊維が豊富

ピッツァの生地には、経腸栄養剤にも使用されている機能性食物繊維の「イヌリン」とスーパーフードと言われる「スーパー大麦 バーリーマックス」を使用。これらを用いたことにより、「食後血糖値の上昇抑制」・「血中中性脂肪低下作用」・「整腸作用」の機能性表示食品の取得が可能となりました。

味については、石橋シェフが妥協を許すことなく絶品に仕上げ、一枚一枚の手作りにこだわりました。

栄養管理室長 浅井 慎悟



石橋尚幸氏



1枚で1日の目標量の半分以上食物繊維が摂取可能!

オンライン限定販売 詳しくは「からだデリ」のホームページをご覧ください!

